

INFORMATION

SABIAN アーティストセレクションシンバル



アーティスト・合わせシンバル 18"
VL-18ASML/TI ¥177,100(税込価格/1pr)

アーティスト・サスペンドシンバル 18"
VL-18AS/TI ¥88,550(税込価格/1枚)

石川 達也 氏
NHK 交響楽団 打楽器奏者



セレクション

各 20set 限定



アーティストセレクション
選定証明書付き

優れた品質で定評のある SABIAN コンサートシンバルの中から特にアーティストの感性に合ったペアを選定してご紹介する「アーティストセレクションシンバル」。合わせシンバルに多彩できらびやかなサウンドと優れたレスポンスで吹奏楽によくマッチするトラディショナル・シンフォニックミディアムライトをチョイス。またサスペンドシンバルには深みのあるトーンとクレシェンド時のクイックレスポンスが人気のトラディショナル・サスペンドを用意しました。NHK交響楽団打楽器奏者 石川達也氏が厳選したセレクションシンバル(選定書付き)を限定リリースいたします。

アダムス・オーケストラチャイムキャンペーン

期間 2025 年 5 月 15 日 (木) ~ 8 月 31 日 (日)

期間中、アダムスオーケストラチャイムを 1 台お買い上げになると、チャイム専用プロテクションカバー(非売品)をプレゼント。

チャイム専用プロテクションカバー(非売品)



筒状で伸縮自在のキルティング製プロテクションカバー。軽量で丈夫な生地と弾力性と反発性に富んだ中綿を採用さらに、特殊な縫製により高い耐久性を誇ります。移動時や保管時に様々な衝撃からチャイムを守ります。



対象商品

ADAMS BK5003 シリーズ (18 音 820 音)
ADAMS BK3003 シリーズ (18 音 820 音)
AD-BK2001C/2



くわしくはパール Web サイト専用ページにて▶



インフォメーション

パール打楽器総合カタログ

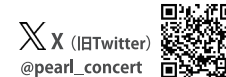
パール打楽器取り扱い楽器店にて配布中



パールコンサート
パーカッション
オフィシャルウェブサイト

<https://pearldrums.com/ja/products/concert>

SNS



お取扱店

ザ・パーカッショニスト 2025

Pearl

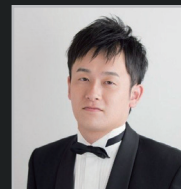
パールが創る、すべての打楽器奏者
指導者へ向けたフリーマガジン

the Percussionist 2025

2025年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲特集



小島 光
打楽器奏者



西久保 友広
読売日本交響楽団
打楽器奏者



入川 奨
札幌交響楽団
首席ティンパニ・打楽器奏者



安永 友昭
日本センチュリー交響楽団
首席ティンパニ奏者

課題曲 推奨楽器案内



平尾 信幸
打楽器奏者



Pearl

《徹底解説》2025年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲Ⅰ 祝い唄と踊り唄による幻想曲

(第34回朝日作曲賞受賞作品)

杉山 義隆

解説:

打楽器奏者

小島 光

Hikaru Kojima

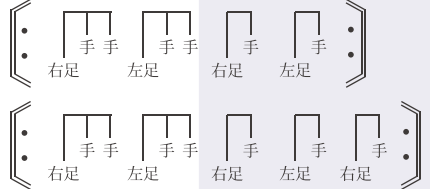
天気の良いのどかな農村地帯の風景が目に見え、

踊り唄になると一転、軽快なリズムに乗って色彩豊かな場面へと切り替わるのですが、このリズムは変拍子の上に乗ってくるので演奏がちょっと難しいです。したがって楽器を使った練習を始める前に、パーカッションメンバー全員で身体を使ったリズム練習からスタートしてみるのはいかがでしょうか？

頭の中で作るリズムではなく、身体で表現してみるので

1. 足を肩幅ぐらい開いて立つ。
2. 膝をきちんと上げて（どちらの足からでもよいです）ステップを踏む。
3. 手は胸の前でハンドクラップ（拍手）する。
4. ステップを踏む度に頭がぐらつかないように、身体全体のバランスに気を付ける。

【D】から始まるリズムを応用した2小節間の反復



～次は反対の足からスタート

【E】から始まるリズムを応用した4小節間の反復



テンポはゆっくりからスタートし、皆の息を合わせて楽しく続けましょう。
慣れてきたら譜面に書かれているテンポよりも早くできるまでトライ！

【各楽器へのワンポイントアドバイス】

■ Sleigh Bells スレイ・ベル
冒頭に出てくるスレイベルは、一般的な西洋の肉厚のベルでも良いのですが、日本の神楽などで使う「鈴」も良いですね。ただ、1 台だと鈴の数が少ないので、2 台を両手で持ち、4 分音符の時も少し長めにブルブルッと震わせます。
※コンクールではSleigh Bellsをご使用ください。

■ Bass Drum バスドラム
練習番号【B】の6 小節目 3 拍裏の一発は、「ドン」ではなく、大きめのマレットで「ブン」と少し控え目な f で低音楽器の補強をイメージしてください。

■ Tom-toms トムトム
トムの音色は和太鼓のイメージなので、ミュートを多めにしてチューニングしておく、アタック音がはっきりしてリズムを出しやすくなります。（使用するスティックはスネアドラム用スティック、または小さめのヘッドのハードマレットなどがおすすめ）
練習番号【E】からはティンパニ奏者との一体感を意識してください。

■ Timpani ティンパニ
出だしから最後までハードマレットを使い、モコモコしない乾いた音色で。
【E】からの音形でアクセントが無理なくきちんと入れられるような手順を早めに決めておくとうまいでしょう。練習番号【E】からはまず Tom のメンバーとのリズム合わせが大事なので、出来るだけ近くにセッティングしておきます。合奏時は皆を引っ張っていくような意識を持ちます。特に金管パートを聞き過ぎると遅れ気味になるので要注意です。

■ Suspended Cymbal サスパンド・シンバル
前半はミディアムハードぐらいで、【E】からは硬めのパチ（スネアドラム用スティック、またはハードマレット）で切れる良い演奏をしましょう。記譜では 8 分音符ですが、16 分音符のタイミングでもう片方の手で鋭くミュートします。

■ Xylophone シロフォン
初めからプラスチックまたは木のヘッドの硬い音でよいのですが、和音の時に 4 本マレットが出てきます。一般的に全く同じ種類で 4 本（2 ペア）揃うことはあまり無いとは思いますが、低いパートの二音の方（左手側）には比べて柔らかめのタイプを使うようにしてください。

■ Glockenspiel グロッケンシュピール
出だしはプラスチック製ヘッドのマレットで良いですが、アップテンポ時にはブラス（真鍮）製ヘッドが効果的です。

■ Tambourine タンバリン
手で持った時の楽器の角度に気を付けましょう。床と平行だと叩いた時に発音のキレが悪くなるので少し斜めに構えますが、その角度についてはいろいろと変えながら試してみてください。練習番号【G】からのパートは Tom のメンバーと二人で分奏練習をしておいてください。

■ Wood Blocks ウッドブロック
この楽器は木製の場合、過度に力みすぎると割れてしまうので、音量に注意が必要です。練習番号【K】からのリズムは Tom のメンバーとのアンサンブルがとても重要なので、合奏の前に二人だけでの分奏練習をおすすめします。特に【L】から合間に入れるリズムはやりにくいと思いますが、休みの間も常に 8 分音符を頭の中で刻むようにしましょう。

合奏を通じて新たな発見がたくさん出てくると思います。この曲にはワクワク感やゾクゾク感が満載なので練習を重ねるごとに奏法や音色への工夫を試してみましょう！

【代替楽器案内の補足と修正】
本誌のSleigh Bells代替楽器（神楽などで使用する鈴）に関する記載について、コンクールにおける演奏ではスコア指定楽器（今回はSleigh Bells）をご使用いただきますようお願いいたします。



《徹底解説》2025年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲Ⅱ ステップ、スキップ、ノンストップ（順次進行によるカプリッチョ）

(2025年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)

後藤 洋

解説:

読売日本交響楽団 打楽器奏者

西久保 友広

Tomohiro Nishikubo

5小節目のスネアドラムとシロフォンが同じ動きです。2 拍目の8分音符は特に軽快に演奏したいですね。管楽器の誰と同じ動きをしているか、フルスコアを見てチェックしてみましょう。この場面に限らず、同じ動きをしている他の楽器に書いてあるアーティキュレーション（スラーやスタッカートなど）をパート譜に書き写すと、よりアンサンブルが密になると思います。ティンパニはアタックをクリアにかつ響きが出るよう、ヘッドの叩く位置や奏法、マレットを研究しましょう。16小節目の合わせシンバルは華やかに、左手（または受ける側）もしっかり鳴らすように意識しましょう。練習番号【A】は短く切りますが、音色が汚くならないよう要注意！18小節目のティンパニは音程が不明瞭になりやすいので5小節目と同様にまずは「F（ファ）」の音程をまずは自分でしっかり歌える（音程が取れる）ように。そして潰れた音色にならないように注意しましょう。

20小節目のスネアドラムはロール後の立ち上がりをはっきり、管楽器のフレーズをなぞる感じで演奏しましょう。ロールは数を決めて（個人的にはRLRL 4つがオススメ）、音色・音量の左右差がないように注意します。軽快な音色が出るよう研究してください。32小節目のバスドラムは軽快に演奏しますが音色は深く鼓動のように、3小節目のcresc.は「より近づいてくる」イメージで。【C】向けて段階ごとに盛り上がることを忘れずに。ティンパニはDes（レト）の音をしっかりと決めたいですが、その前のAs（ラト）も大変重要な音です。衝撃音にならないように音程感や響きを大切に演奏します。シロフォンは3 拍目を積極的にcresc.をしましょう。

【D】がひとつこの曲の難しい場面です。「leggiero」と書いてあります。この意味は分かりますか？グロッケンシュピールはクリアな音色が出るもので、あまり重

たくなマレットを選びたいです。トライアングルに使用するピーターは細いものは避け、タンバリンとグロッケンシュピールよりも明るい音色感で。タンバリンは打ち手を、塩をひとつまみしたような状態の形にして、シングルで演奏する方法がまずは良いかなと思います。明るく、笑顔で演奏したいですね！楽器を地面に平行ではなく、斜めに構えるとジングルの音色が軽くなります。角度も研究しましょう。他にも親指と他の指で交互に叩く奏法、楽器を膝に置いて（ヘッドの裏側を膝に触れるように）、両手で演奏する奏法などが考えられます。楽器は軽快な音色感のもので、かつ、まとまりがあるほうがこの場面には雰囲気が出ると思います。【E】のティンパニは前に演奏しているB♭（シト）をAs（ラト）を演奏すると同時にマフリングするとクリアに響くので、このテクニックはマスターしたいです！

97小節目のスネアドラムはロールあとに装飾音符というのが鬼門です。97～99小節は装飾音符は左、そのほかは全て右の手順でやってみます。装飾音符は低い位置から叩くのが鉄則！叩くというより「添える」意識で。ffとありますが軽快さを忘れずに。101小節のグロッケン dolceと書いてありますが、マレットは柔らかすぎず、タッチで変えましょう。管楽器の息のスピード感を意識して演奏すると良いブレンド感になると思います。

最後の合わせシンバルは練習し甲斐がありますね！左右に持つシンバルが合わさったトップの部分をしっかり目視して、予動は大きくなり過ぎず（呼吸は1 拍前にしっかり取ります）演奏するとうまく行くと思います。まずは10回同じ音を、次は100回同じ音が出るよう身体に馴染ませてください。ffと書いてあり、怯えてしまいますが、まずは出しやすい音量で練習して徐々に音量を理想へ近づけていきます。

この曲の理解を深めるために、タイトルにある「順次進行」ってなんだろう、「カプリッチョ」ってなんだろうと疑問に思うこと、楽譜に書いてある楽語を調べたり、作曲家の後藤洋さんの他の作品を聴いてみるのも良い手助けになります。そうして得た知識は「自信」へと繋がります。様々な音色感、センスを磨きたいですね♪



Featured Products

口径を13インチとし、
ダイナミクスと解像感を重視したモデル



Model: JJ1365N ¥58,850(税込価格)
シェル: 13"x6.5" 1mm スチール(ブラック)
フープ: スーパーフープ2(ブラック)
スナッピー: スチールスナッピー(S-029N)
ヘッド: コーテッドアンバサダー

素早いレスポンスと豊かな低音を実現。スチールシェルの特性により、非常に明るくクリアなアタックを持っており、大編成の中でも埋もれずに存在感を出すことが可能。細かいロールやアクセントが明瞭で、打点の粒立ちの良さに加え、あらゆるボリュームレンジでサウンドがよく通るキャラクター。

口径を13インチとし、
バンドと楽曲との音量バランスを重視したモデル



Model: OH1350 ¥69,300(税込価格)
シェル: 13"x5" アフリカンマホガニー 6ply 7.5mm
フープ: スーパーフープ2
スナッピー: スチールスナッピー(S-029N)
ヘッド: コーテッドアンバサダー

別名、「パワーピッコロ」ともよばれ、明るくシャープなサウンドを実現。アフリカンマホガニーはローエンド(低音域)が強めで、落ち着いたサウンドを持つため、派手すぎず、吹奏楽・オーケストラ編成に非常に馴染みやすい特性。13インチ口径により、音の密度が高く、クリアな発音を発揮しつつ、メインスネアとして十分なパワーを確保。その音色には温かみがあり、レスポンスが速く、細かいロールや装飾音を鮮明に出せることが特徴。



金井麻理氏 コメント

JJ1365N

このモデルはシェル等が黒く塗装され、品のある高音と深みのあるサウンドが印象的。とりわけ音のまとまりが良く、スナッピーは「SN-1320D(ウルトラサウンドスナッピー)(別売)」が好相性。吹奏楽では小編成のバンドにもよくフィットし、価格的にも手に取りやすい点が魅力です。何よりドラムセットとの相性がとても良いです。

OH1350

このモデルは、通常の14インチでは音が詰まってしまうようなハイピッチでも、しっかりと響き出すことができるので、明るくて太い音を求める場面においても、クリアでまとまりのあるサウンドが得られます。響き線の再現性が高く、深みや上品さを備えた、ツブ立ちの良さだけではない豊かな響きが特徴ですね。

金井麻理
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
打楽器奏者



《徹底解説》2025年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲Ⅲ

マーチ「メモリーズ・リフレイン」

伊藤 士恩

解説：

札幌交響楽団 首席ティンパニ・打楽器奏者

入川 奨

Sho Irikawa



さあ、課題曲定番のマーチがやって参りました！今年のマーチは 1 曲、奇をてらわないオーソドックスな作りの中にも、打楽器として面白い使われ方やこだわりたいポイントが詰まっています。

冒頭の音量はフォルテですが、大きくというイメージではなく、力まず明るい音で始めたいですね。小太鼓やグロッケンも闇雲にロールをするのではなく、木管楽器のトリルのニュアンスを感じてみましょう。

[A] の直前にシンバルを 8 分休符で止めますが、しっかり「ザン！」と鳴らし終えて切りましょう。素早く止める、というところに意識がいってしまっ「ザッ！」となりすぎないように。この延長線上になりますが、[C] の 2 小節目も同様です。3 拍目が「ダッダッ」と固くならず「ダンダン」の響きを残すイメージです。とにかく音を止めることに必死になりすぎないでください。シンバルはもちろん、大太鼓も意識するのとしなひでは大きく違ってきます。

[D] 小太鼓のリム打ちがマーチに出てくるのは珍しいのかなと思いますが、スティックの材質である程度出てくる音も変わってきます。リムを叩いて気に入った音のスティックを 1 曲通して使うという考え方も有りかもしれませんね。

転調してトリオに入りますが、ここからが個人的に萌え！推し！箇所です。まずこの曲にたった一度しか登場しないウィンドチャイム。一度だけというのが憎いなところでもあるのですが、この楽器が入るだけで、どこか夢や哀愁のような雰囲気を感じさせます。あまりピアノの音量に固執せず、5 拍分ということにもそこまで厳密にならずに (楽譜に書かれている範囲なら拡大解釈

してもらって構わないと作曲家も述べておられます) 会場一杯に響きを届けてください。

[I] からの使い方も素敵だな ~ と領いてしまいます。S.Cym のクレッシェンドした先に C.Cym を重ねている、しかも *mf* で！ S.Cym だけでも効果十分ですがそこに合わせシンバルが重なったら・・・この一発はシンバル奏者のセンスの見せ所です。アドバイスとしてはアタックを柔らかめにして、尚且つ少し長めにこすり合わせてみる、というところでしょうか。刻みのシンバルにはない、新しい一面のようなサウンドを探してみましょう。

小太鼓に関しても同じで、今までのキビキビとした発音とはガラッと変えて、まるでブラシで演奏しているような音色を目指してみたいかがでしょうか。4 分音符のロールも少しぼかして入るようなイメージです。グロッケンは角がない、丸みを持った音の出るようなマレットに変えてみるのも変化がついて面白いと思います。

今触れてきた楽器に加えて、これまたトリオでしか登場しないトライアングルですが、ピアノだからといって細いピーターではなく、ある程度太さがあるものが望ましいです。透明感というよりはふくよかさとも言いましょうか、上品で艶のある音色を見つけてみてください。

トリオに関して少々熱くなりすぎてしまいました。最後にひとつだけ。

[K] からのシロフォンですが、同じ動きをしているのがフルートとクラリネットで、恐らくこの 2 つの楽器は [K] から [L] まで多少のプレスを取るにせよ、8 小節目をひとまとまりに感じていると思うのです。したがってシロフォンも 3 小節目・5 小節目と音は一旦切れ

てしましますが、トリルをしているようなイメージを持って、息の長いフレーズを作り上げてください。

喜怒哀楽、酸いも甘いも・記憶というのは様々だと思います。メモリーズ・リフレインの曲名からインスピレーションを得て、これまでを振り返りながらも、それらを引っくるめて「Bright March」を演奏して頂けたら幸いです！

《徹底解説》2025年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲Ⅳ

Rhapsody ～ Eclipse

(2025年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)

大島 ミチル

解説：

日本センチュリー交響楽団 首席ティンパニ奏者

安永 友昭

Tomoaki Yasunaga



「皆既日食からイメージが広がった曲」、そう聞いただけで、わくわくしますね！

宇宙へのイマジネーションを膨らませながら、ひとつひとつの音をイメージし、その音色や音楽を奏するためにどのようなアプローチをすれば良いのか、試行錯誤を楽しんでみましょう。この曲は全体を通して、クレッシェンドとデクレッシェンドで音楽が進行します。今ある音の進む先へと意識を向けることが大切です。どこに向かって音楽が動いているのか、和声進行はどうなっているのか。その場その場だけでなく、全体の構成を考えて、大きな流れをイメージしながら演奏しましょう。

冒頭は「宇宙への憧れや夢を表現しているので暖かい感じで」と作曲家自身が書いています。ビブラフォンは深みのある柔らかい音色が良いでしょう。アタックが目立ち過ぎないように、管楽器の響きの中に立体的な動きを混ぜ込んでいくようにイメージしてみましょう。

練習番号 [B] は「宇宙へ出発する前の高揚感が少しずつ増していくイメージ」です。シンバル・大太鼓・ティンパニは、まだ見ぬ宇宙に思いを馳せて、スケールの大きな宇宙空間に音が広がっていくようなイメージで演奏してみましょう。

[C] からは、いよいよ「宇宙への旅立ち」の部分となります。わくわくする気持ちを、打楽器のリズムで表現してみましょう。スネアドラムは、1 拍ずつのビートを感じつつ、2 分の 2 拍子のような流れも意識しながら演奏してみてください。クレッシェンドはあまり力まないように。

ティンパニは、低音楽器との一体感を意識しながら、リズムの輪郭を明確にしましょう。

[D] からは、それまでのスネアドラムやティンパニなどの膜鳴楽器から金属打楽器に移行します。打楽器の音色でバンド全体の音楽表現に変化をつけられるように心がけてみましょう。

「宇宙を舞う」ように、トライアングルは 1 つ振りの 3 拍子のイメージでメロディーのフレーズを意識してみてください。それに対して下降音形のグロッケンは、軽やかな音で流れるように演奏してみましょう。

[F] のスネアドラムは、最初の 2 小節間クレッシェンドがありますが、大きくなりすぎないように、その先を意識した配分を心がけましょう。

[G] のシンバルは印象的ですので、ふさわしい音色を工夫してみましょう。演奏者にとって、楽器選びは音色づくりの第一歩です。こだわを持って選びましょう。

同じ品番でもシンバルは一枚一枚音色が異なり、また年月の経過とともにさらに音色が変化していきます。マレットの芯の材質・重さ・巻いている糸の材質・巻き数、シンバルのどの位置を叩くか、予動の取り方、打つ時のスピードなど、さまざまな選択肢を経て無限の種類の音色が生まれます。「これだ！」と思う音色選びを楽しんでみてください。また、余韻の処理にも工夫が必要です。

曲を締めくくる最後 2 小節はとても重要です。4 つの打楽器の音が重なり合って、1 つのサウンドとなるようなイメージで演奏してみましょう。

New Products

REMO コンサートバスドラムヘッド

ルネッサンス Renaissance

RA-132B (32 インチ パールロゴ入り) ¥20,130(税込)

RA-136B (36 インチ パールロゴ入り) ¥23,210(税込)

カーフスキンを彷彿とさせるレスポンスの良さが特徴で、バンドの低音を支えつつ、柔らかなアタック感と心地よいサスティーンが得られます。あたたかな響きを持ち、さまざまな編成の中でもなめらかにフィットします。



フィルムの両面に特殊加工が施され、リッチ&マイルドなキャラクター

New Products

キャスター付パーカッション・テーブル

PTT-1824C ¥30,800(税込)

今では全国の多くの吹奏楽部で採用されている、パールマレットテーブルにリハーサルや本番時のセッティングが迅速にできるキャスター付モデルが新登場。演奏者が1人でセットを運ぶ場合や、セッティング時間が短い演奏会やコンテストに便利。狭いスペースでのリハーサルや本番で素早く配置調整が可能で、キャスターにはロック機能があり、固定すれば演奏中にズレ動くことなく使用できます。吹奏楽やマーチングバンドの本番会場の移動が楽になり、複数のマレットテーブルを一か所に集めて管理する際も便利です。



ロック機構付き大型キャスター



2025年度 吹奏楽コンクール 課題曲推奨楽器

監修：平尾 信幸

打楽器奏者

Nobuyuki Hirao

課題曲Ⅰ 祝い唄と踊り唄による幻想曲 (第34回朝日作曲賞受賞作品)

小編成における打楽器パートの未来を占う注目すべき課題曲だと思います。極めて小さな編成でもカバーできる楽器選びをしてみましょう。

- | | |
|------|---------------------------------|
| トムトム | ① マホガニーダブルヘッド
② マホガニーシングルヘッド |
|------|---------------------------------|

大切なことはサイズ選びです。バンドの人数や技術レベル、みんなの好み等実際に試してみるのがベスト。参考音源は低めの音程に設定されていますが、順ずることはありません。また、①が持つ魅力的な音色を損なうような過度なミュートは避けてください。初心者には余韻のコントロールがしやすい②を。①②共に13"×11"、14"×12"、15"×14"くらいが使いやすいと思います。

- | | |
|------------|-------------------------|
| グロッケンシュピール | ① AD-GD26
② AD-GAA33 |
|------------|-------------------------|

これから増えてくと思われる小編成バンド20×20において、キーボードパーカッションの果たす役割は益々重要になると思われます。②は表現の幅を格段に広げ、ハイクオリティなパフォーマンスを目指すバンドには必須アイテムになると思います。

- | | |
|-----------|----------------------|
| バスドラム | PBA3618ST |
| サスペンドシンバル | ① HH-18MTC ② AAX-18S |
| タンバリン | PETM-1018GS |
| スレイベル | SB-25L |
| ウッドブロック | WB-S&WB-M or L |
| シロフォン | AD-XS1HA35 |



課題曲Ⅱ ステップ、スキップ、ノンストップ (順次進行によるカプリッチョ)

(2025年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)

愛らしいメロディーにシンプルな譜面(ふづら)から取っつきやすそうに感じますが、演奏者の力量が一瞬でわかる難易度の高い作品です。

- | | |
|--------|-------------------------|
| スネアドラム | ① OH1350
② PHA1450/N |
|--------|-------------------------|

①のOH1350は、軽快さはもちろん13インチとは思えないリッチで上品なサウンドが作品を引き立てます。特にロールのサウンドキャラがこの曲にジャストフィット。ウルトラサウンドスナッピーSN-1320Iの装着がオススメ。

- | | |
|-------|------------------------------|
| バスドラム | ① PBA3620PBST
② PBA3620ST |
|-------|------------------------------|

編成の大小に関わらず、深洞の極上サウンドが適しています。①から生み出される71小節からの4発は会場全体を魅了するでしょう。

- | | |
|------|----------------------------|
| シンバル | ① HHX-18SYM
② VL-18ASML |
|------|----------------------------|

僅か3発ですが高度な技術と音楽性が問われる責任重大なパート。①は決して簡単に鳴ってくれる楽器ではありませんが地道に鳴らし続ける事で理想の音を生み出すアイテムとなります。

- | | |
|------------|-----------------------|
| トライアングル | SAB-SHT8 or SAB-SHT10 |
| タンバリン | PETM-1018GS |
| シロフォン | AD-XS1HA35 |
| グロッケンシュピール | AD-GD26 |



課題曲Ⅲ マーチ「メモリーズ・リフレイン」

この曲を伝統的なサウンド感覚のまま臨むと思わぬ落とし穴が…現代のマーチングバンドのように、打楽器それぞれの見せ場を把握することがポイント！

- | | |
|-------|---|
| バスドラム | ① PBA3218ST
② PBDM2814 ※チャンピオンシップバスドラム (CBS-15L) |
|-------|---|

定番の36"×18"で全体をリードするのはこの曲のイメージでは無い様に感じます。マーチングバスドラムのように軽快で透明感のあるサウンドでベースラインとシンクロさせたいので①がオススメ。その延長線として②を選択肢に加えるのもありかと思います。

- | | |
|------|-----------------------------|
| シンバル | ① HHX-18VTR-B
② AAX-18CB |
|------|-----------------------------|

必要以上のサステーンは全体の妨げになりそうなので、イチ推しは①。最大のポイントは自然なディケイ(音の減衰)。BDをはじめ、他のパートの邪魔をしないロングトーンがこの曲にジャストフィットします。

- | | |
|------------|-------------------------|
| ティンパニー | 88H |
| スネアドラム | ①PHP1450/N ② CL1455SN/C |
| サスペンドシンバル | HHX-18S |
| トライアングル | SAB-SHT8 or SAB-SHT10 |
| ウインドチャイム | PWCH-3220A |
| シロフォン | AD-XS1HA35 |
| グロッケンシュピール | AD-GD26 |



課題曲Ⅳ Rhapsody ～ Eclipse (2025年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)

「イメージネーションを駆使して…」今年の課題曲の中で最もセンスを問われる作品と言えるでしょう。

- | | |
|--------|----------------------------|
| スネアドラム | ① PHRF1455S/C
② JJ1365N |
|--------|----------------------------|

旅立ちを予感させるクラシックでもポップスでもない映像音楽独特なジャンルレスなスネアドラムのサウンド。単純にスナッピーの音色を強調したければ①を、メディアアーツ的な打ち込み効果狙うならパールスネアNo.1の個性派②をお薦めします。ウルトラサウンドスナッピーSN-1320Dの装着を推奨。

- | | |
|-------|------------------------------|
| バスドラム | ① PBA3620ST
② PBA3622PBST |
|-------|------------------------------|

映画館やイベント会場のウーファーから放たれ全身を揺さぶる様な重低音は①から。更に物足りないという方には受注生産の②をお薦めします。もはや至高！

- | | |
|-----------|--|
| サスペンドシンバル | ① HHX-18ANT/H or HH-22ANT/H
② VL-20AS |
|-----------|--|

皆既日食の時に観測可能なコロナ。その神々しい光を思わせる [G] からの4発には、ベルトーンとスブラッシュトーンのバランスが抜群の①。大編成では是非22インチを！

- | | |
|------------|-----------------------|
| トライアングル | SAB-SHT8 or SAB-SHT10 |
| グロッケンシュピール | AD-GD26 |
| ヴィブラフォン | AD-VSWA31G |

